

# 2026年度 図書館だより 〈第2号〉

令和8年5月20日(水) 群馬県立太田フレックス高等学校図書室 発行

## 今年度・実施予定の図書館活動紹介

- ・図書館だより作成\*
  - ・校内ビブリオバトル大会\*
  - ・年間多読者表彰
  - ・新着図書案内
  - ・地区ビブリオバトル大会\*
  - ・書架整理\*
  - ・POP作成展示\*
  - ・(参加者募集予定)
  - ・館内装飾\*
  - ・推薦図書紹介展示\*
  - ・蔵書点検
- \*印は図書委員会活動でも実施します。  
\*生徒のボランティア参加大歓迎です!

## 2026本屋大賞受賞作品紹介

先月、2026本屋大賞が発表されました。全国書店員が投票して選んだ、読んで一番お勧めしたいと思ったベスト10作品です。すべて図書室に入っていますが、どの作品も人気があります。貸出中の場合は予約をしてください。

- |   |   |
|---|---|
| <b>1位</b> 『イン・ザ・メガチャーチ』<br>朝井リョウ／著 日経BP日本経済新聞 | <b>6位</b> 『殺し屋の営業術』<br>野宮有／著 講談社        |
| <b>2位</b> 『熟柿』<br>佐藤正午／著 KADOKAWA             | <b>7位</b> 『ありか』<br>瀬尾まいこ／著 水鈴社          |
| <b>3位</b> 『PRIZE』<br>村山由佳／著 文藝春秋              | <b>8位</b> 『探偵小石は恋しない』<br>森バジル／著 小学館     |
| <b>4位</b> 『エビクロスの処方箋』<br>夏川草介／著 水鈴社           | <b>9位</b> 『失われた貌』<br>櫻田智也／著 新潮社         |
| <b>5位</b> 『暁星』<br>湊かなえ／著 双葉社                  | <b>10位</b> 『さよならジャバウォック』<br>伊坂幸太郎／著 双葉社 |

## 青少年読書感想文コンクール 課題図書

今年度の課題図書が決まりました。今月中には図書室に入りますので利用できます。

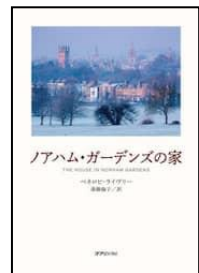
### 『スウィッシュ!』 藤ノ木優／著 徳間書店

部活動に医療の視点が加わったとき、チームはどう変わるのか。高校女子バスケットボール部を舞台に、スポーツドクターの父とチームのキャプテンである娘・愛奈との関係を軸に物語は展開する。競技に反対し、距離が生じていた父娘だが、エースの大怪我をきっかけに、父は医療の立場からチームに関わるようになる。成長期の選手に欠かせない体づくりや食事管理、家庭環境の問題と向き合いながら、仲間とともに高校最後の大会に挑む姿を描く。



### 『ノアハム・ガーデンズの家』 ペネロピ・ライヴリー／著 ゴブリン書房

英国の学園都市オックスフォードでヴィクトリア朝の年代物の邸宅に住む14歳のクレアは、おらかな高齢の大叔母の姉妹と三人で暮らしているが、将来に漠然とした不安を抱えていた。家は古い物であるれているが、人類学者だった曾祖父が残したニューギニアの桶が急に気になりはじめると、未開の地が夢で現れ、不調をきたすようになる。やがて時と変化を超えて、過去が生きている土地の記憶をたどることで、現実の世界に足場を見つけていく。



### 『平和のうぶごえ』 早志百合子／著 毎日新聞出版

広島で被爆した少年少女たちの手記『原爆の子』は1951年に出版され、今も世界で読み継がれている。本書の著者は、9歳の時に被爆し、その体験を書いた一人。執筆者らで発足したグループの会長を務めている。『原爆の子』たちはいかに被爆体験から影響を受け、戦後80年を生き抜いてきたのか。著者を含めた人びとの苦難の人生がつつられる。今こそ次世代に伝えたい命の尊さと、平和への願いが込められる。

